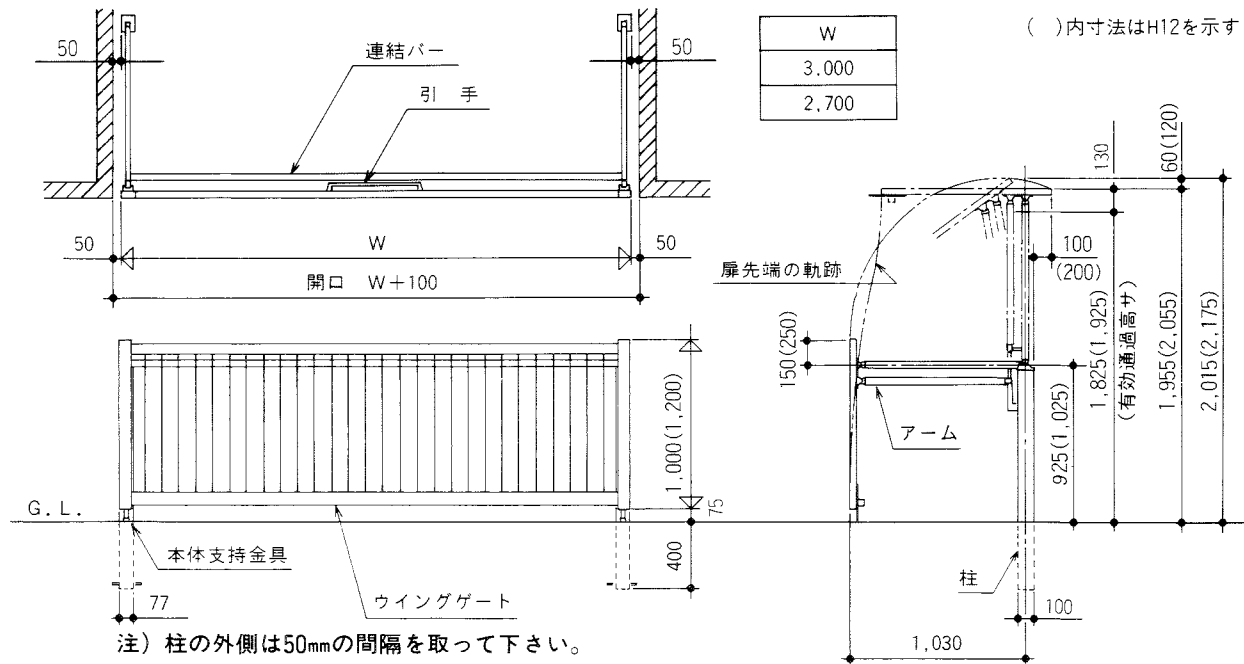


## はじめに

当社ウイングゲートは特殊なリフト機構を採用しており、敷地境界線ギリギリに取付けてもアームの回転半径による飛出しはありません。

## 単独納まり図



注) 柱の外側は50mmの間隔を取って下さい。

## 組合せ表 施工する前に本体と柱の組合せを、念のためお確かめ下さい。

本体及び柱

本体	柱	本体	柱	本体	柱
A型	WA <sup>(H)</sup> 3010 2710	WPC <sup>(H)</sup> 1	D型	WDS 3010 2710	WPD <sup>(H)</sup> 1
	WA <sup>(S)</sup> 3012 2712	WPC <sup>(S)</sup> 12		WDS 3012 2712	WPD <sup>(S)</sup> 12
B型	WB 3010 2710	WPD 1	E型	WE 3010 2710	WPA 1
	WB <sup>(H)</sup> 3010 2710	WPD <sup>(H)</sup> 1		WEH 3010 2710	WPAH 1
	WB 3012 2712	WPE 12		WE 3012 2712	WPA 12
	WB <sup>(H)</sup> 3012 2712	WPE <sup>(H)</sup> 12		WEH 3012 2712	WPAH 12
C型	WCH 3010 2710	WPDH 1	F型	WF 3010 2710	WPC 1
	WCH 3012 2712	WPDH 12		WFH 3010 2710	WPC 12

別売部品

フック棒セット	柱
APEAF	H12用柱

## 梱包明細 組立の前に部品が不足していないか念のためお確かめ下さい。

扉セット	名称	数量	名称	数量
扉セット	扉 本体	1	穴 フ サ ギ	4又は8
	連結バー	1	φ4×10トラスタッピン	4
	縦枠キャップ	4	引手セット	1又は3

柱セット	名称	数量	名称	数量
柱セット	柱 左	1	アンカー棒	2
	柱 右	1	φ4×10トラスタッピン	8
	本体支持金具	2	M8×90ボルトセット	2
	埋込金具	1	取付説明書	1

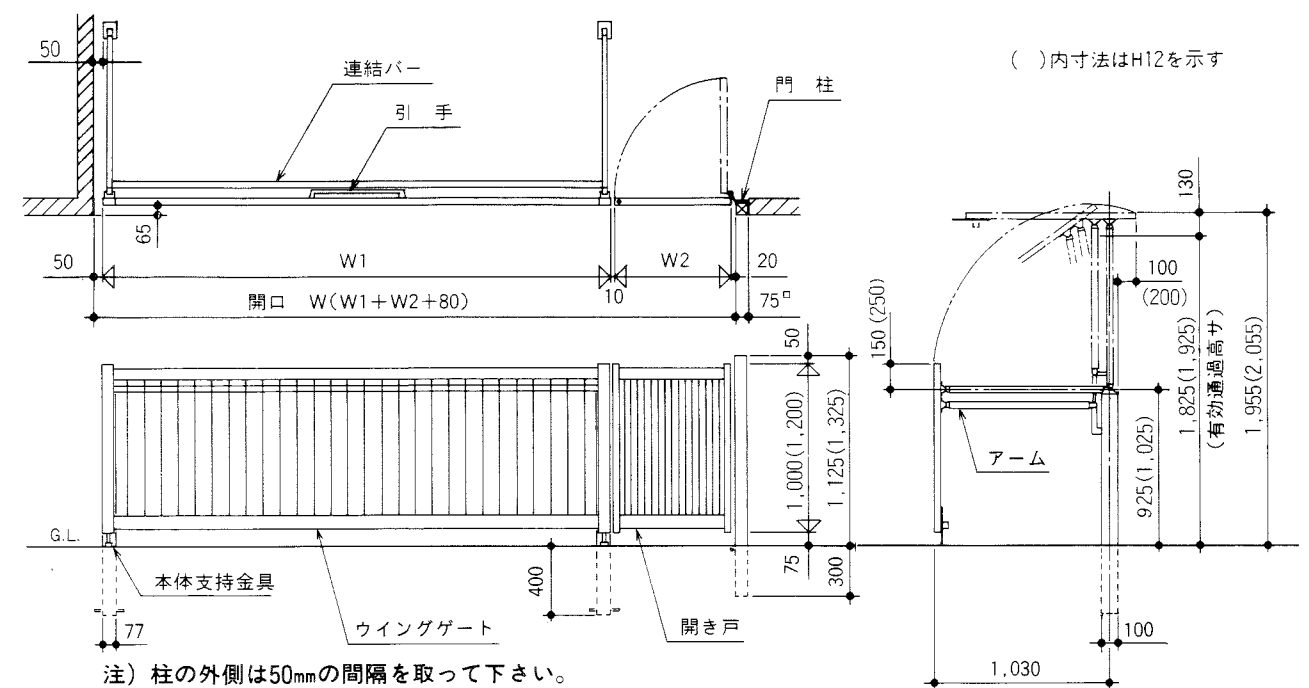
フック棒セット	名称	数量
フック棒セット	フック棒	1
	Lボルト	1
	六角ナット	1

## 施工上の注意事項

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

- ①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけると腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。

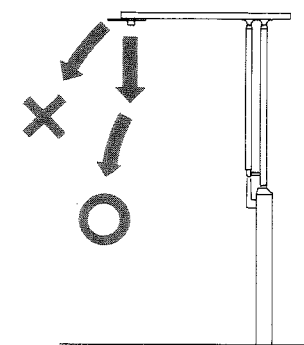
## 開き戸付納まり図



注) 柱の外側は50mmの間隔を取って下さい。

## 御使用方法

1. 扉を持って、上に力を加えることにより扉を開けられます。
2. 引手を持って、扉の先端を真下に引下げることにより、アームが回転し扉を閉じられます。  
注) 必ず扉の先端を真下に引下げてからアームを回転させて下さい。
3. 埋込金具のリングをL形ボルトに掛ると容易にロックできます。又市販の南京錠で支持金具と埋込金具の間で施錠できます。



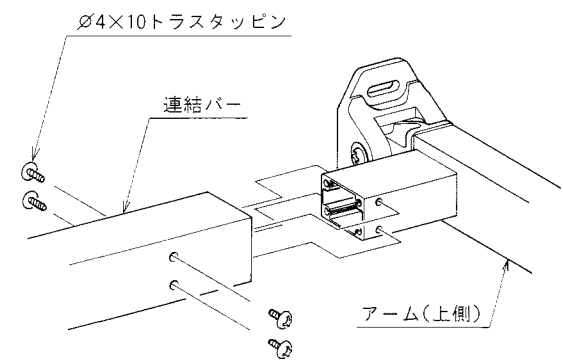
## ご使用上の注意

1. 扉の先端を真下に引下げないでアームを回転させることは機構上できませんのでご注意ください。(左図参照)
2. 扉に乗ったり、ゆすったりして遊ばないように特にお子様に注意して下さい。
3. 扉の開閉は静かに行なって下さい。
4. 扉を施錠した状態で無理に力を加えないで下さい。

# 組立説明図

## 1 組立手順

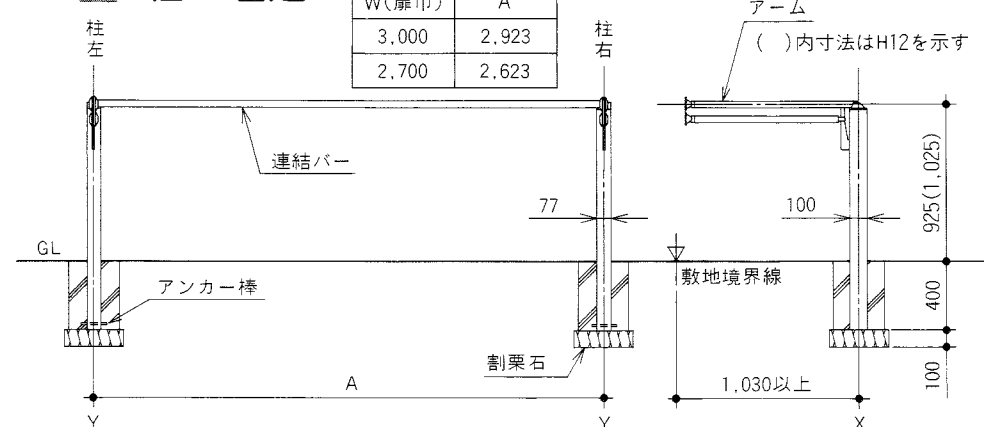
### 1 連結バーの取付け



- 必ず柱を埋込む前に取付けて下さい。
- 連結バーを左右の取付け部に差し込みビスで固定して下さい。
- 連結バーは、扉本体に梱包されています。

### 2 柱の埋込

W(扉巾)	A
3,000	2,923
2,700	2,623



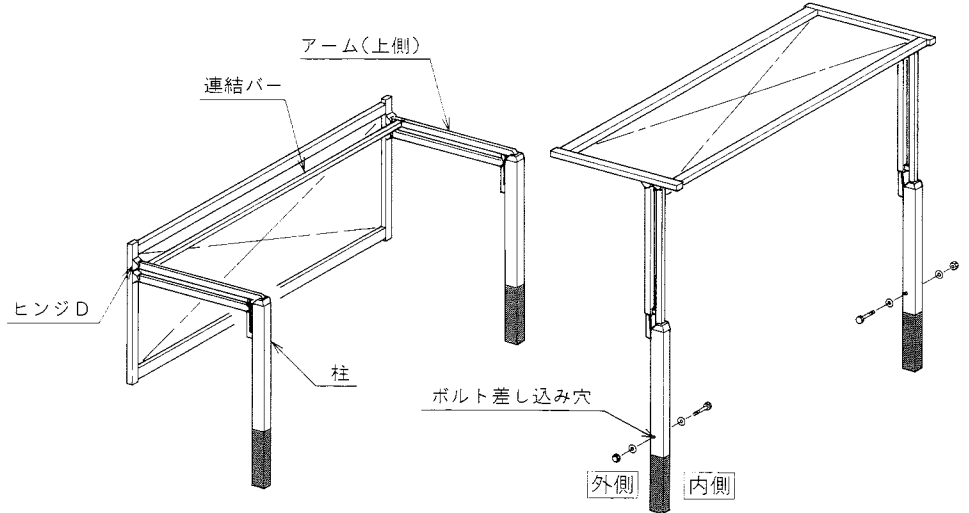
- 基礎用の穴を掘り、割栗石を敷いて下さい。
  - 柱にアンカー棒を差し込み、基礎穴に建て込んで下さい。
  - 埋込位置、高さ、垂直度、水平度を調整し、たる木などで固定しコンクリートを流し込んで下さい。
- 注) 1. G.L.表示マークが家側になるよう建て込んで下さい。  
2. 柱はX及びY方向の水平レベルを十分チェックして下さい。

### 3 扉本体の取付け手順

基礎コンクリートが固まったことを確認し、扉を取付けて下さい。  
各部分の組立・取付けは右項を御覧下さい。

- ヒンジDにて扉をアームに組付けて下さい。
- 扉をアームが回転しなくなるまでもち上げて、手でささえるか、棒などを使って倒れないようにして下さい。
- ボルト差し込み穴にドライバー等を使って柱の穴と、柱内のガススプリングの穴を合わせてからボルトを差し込み、袋ナットを締め付けて下さい。  
その後注意シールを剥し、柱カバーを引き下げて、ガススプリングが見えなくなる様に、セットして下さい。

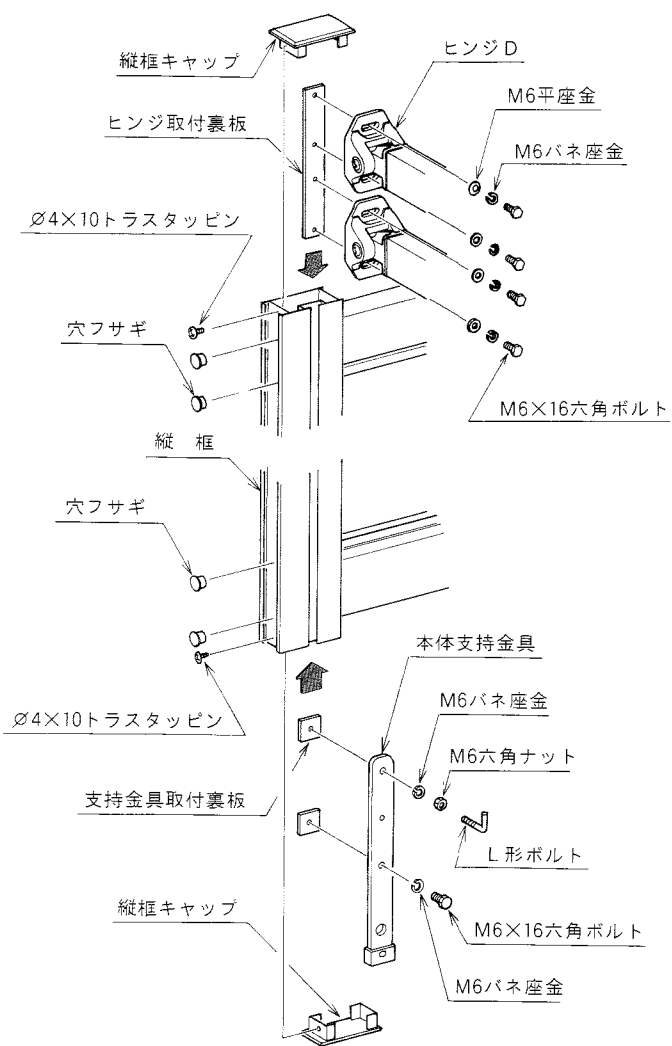
注) ボルト差し込み時にガススプリングのロッドにキズをつけないで下さい。  
ガス漏れの原因になります。  
尚ボルトは柱内側より、外側に向って必ず差し込みセットして下さい。



## 2 各部品の取付け

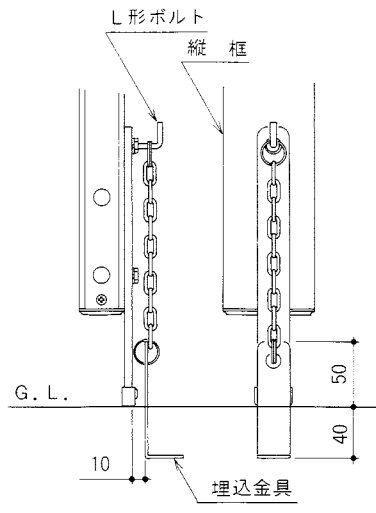
### ■ ヒンジ・支持金具の取付け

- 仮組しているヒンジD、及び本体支持金具のボルトをゆるめ縦框に差し込んで固定して下さい。ヒンジの固定位置は右図を参照して下さい。(この時扉の上下を確認してから取付けて下さい。)
- 縦框キャップ、穴フサギを取付けて下さい。

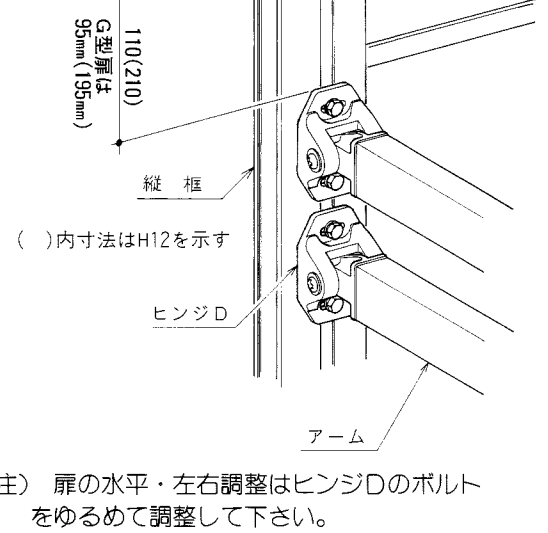


### ■ 埋込金具

埋込金具を埋込んで下さい。埋込金具のリングをL形ボルトに掛ると容易にロックできます。又、市販の南京錠で支持金具と埋込金具の間で施錠できます。

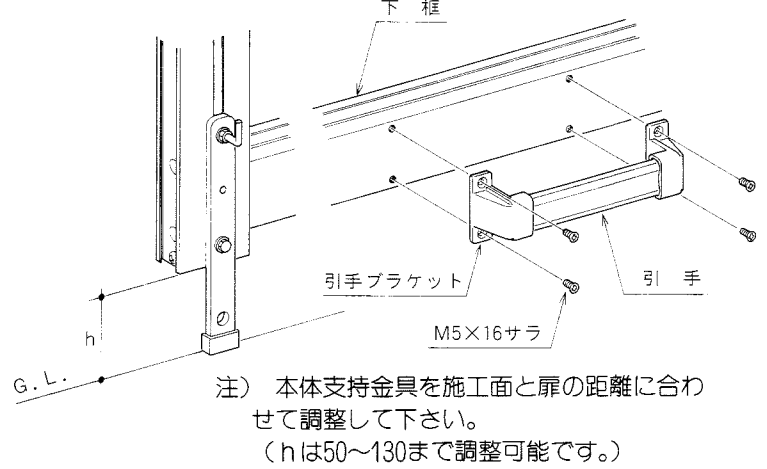


### ■ 扉の調整

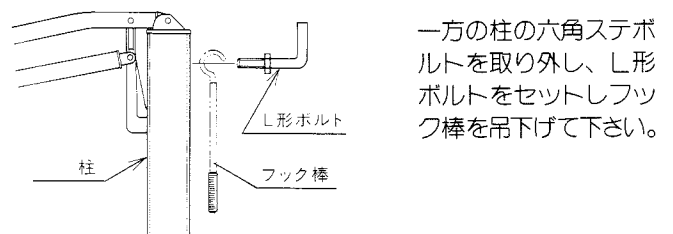


### ■ 引手の取付け

引手両端にブラケットを差し込み皿ビスで取付けて下さい。



### ■ フック棒の取り付け (H12柱用別売部品)



### ■ 施工後の確認

ねじ、ボルトの締め具合をもう一度確認して下さい。

### ■ おわりに

以上で取付けは完了ですが、お客様に正しく取扱っていただくために、施工完了後に、使用方法、使用上の注意等をお客様に説明して下さい。